



DVD 『ノーモア・ヒバクシャの願い』が完成しました！

次代を生きる子どもたちに届けたい、1年かけて制作を進めていたDVDがついに完成、24分36秒の中に、考えるためのテーマがたくさん詰められています。

原爆のすさまじさと非人道性、本郷弦さん(本郷新さんのお孫さん)による絵本『北の里から平和の祈り』ノーモア・ヒバクシャ会館物語―の味わい深い朗読、そして作者の思いと被爆者か

ら若者へのメッセージ。札幌市の小中高へは寄贈しました。今後全道の学校へ、諸団体に活用を呼びかける予定です。

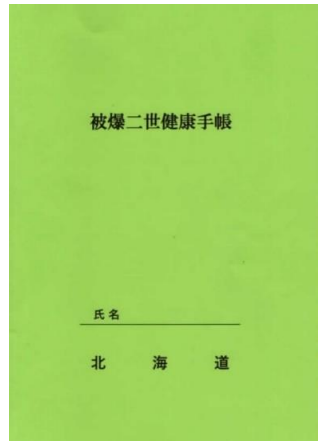
貸し出し 1000円
販売 2500円

「被爆二世健康手帳」が出来上がりました！

「被爆二世健康手帳」が出来上がりました。

被爆二世健康診断の受診結果を収録しやすいA5サイズ(148mm×210mm)としました。

親の被爆の影響に不安を抱え、健康問題に苦しむ被爆二世が多いことから、全国の被爆者団体が被爆二世の健康対策充実を国や地方行政機関に訴えてきました。被爆二世健診は早い時期に実現し、近年は二世手帳を交付する自治体も増えてきました。本道でも、被爆二世プラスの会および北海道被爆者協会の呼びかけに応じ、北海道地域保健課が、把握できたす



べての被爆二世への二世健診の周知を実施しました。2022(令和4)年度には道内の二世健診受診者は158人に上り、健康への関心の高さを示しました。

お届けする「被爆二世健康手帳」は、従来の手続きを簡素化するものではありませんが、受診記録を収納できるほか、二世健診の概要も記しています。ぜひ健康管理に役立ててほしいと思います。

(二世プラスの会)

「いのちの笑顔プロジェクト」ヒロシマの心とお好み焼き

連休最後の6日、ヒバクシヤ会館で被爆二世溪口正裕さんによる「いのちの笑顔プロジェクト」ヒロシマの心とお好み焼きが行われま



した。被爆した母が書いた「戦争は絶対だめ」という手記の意味を考え、私たちと変わらない日常を一瞬の内に消し去った原爆のむごさを小中生にもわかりやすく語りました。

後半はお好み焼き実地編。目の前で焼けるお好み焼きを見て食べて、そこに込められた復興の願い、ヒロシマの心を考えて参加者全員が語って交流。「生徒さんたちが来てくれたのが一番うれしい」と被爆者。被爆者から二世・非被爆者へ、そして子どもたちへ、バトンは少しずつ渡されようとしています。

札幌市の被爆者派遣事業すでに35校に

札幌市の小中高への被爆者派遣事業はこのところ30校に達する勢いでしたが、今年は何とすでに35校になりました。

ウクライナやパレスチナをめぐる非人道状況、内外の対立の緊張もあって、生徒や教員に被爆者の話を聞きたいという思いが強まっています。

語ることでできる被爆者はほぼ5名、万難を排して学校現場のこの要望に応えようと話しあっています。

今後の予定

- 5月19日(日) 理事会・総会
- 5月26日(日) ヒバクシヤ会館 札幌市被爆者の会総会、10時
- 5月22(水)または23日(木) 追悼会実行委員会
- 7月17(水)18(木) 被爆の証言と原爆展